２０２０(令和２)年度
小野学区自治連合会 総会

議 案 書

付　資料

日　時　２０２０(令和２)年４月１１日(土) 午後６時～８時

場　所　小野市民センター　１階　大会議室

次　第

開会・挨拶

議 長 選 出

総会成立確認

議　事

（目次）　(頁)

	２０２０(令和２)年度　関係団体	1
	２０１９(令和元)年度　運営委員	2
第 １ 号議案	２０１９(令和元)年度　活動報告	3
第 ２ 号議案	２０１９(令和元)年度　会計報告	12
第 ３ 号議案	２０１９(令和元)年度　会計監査報告	13
第 ４ 号議案	２０２０(令和２)年度　自治連合会運営委員	14
第 ５ 号議案	２０２０(令和２)年度　活動方針(案)	15
第 ６ 号議案	２０２０(令和２)年度　予算(案)	16
	会則・規約	18
	防犯カメラ設置位置図	22
	遣隋使小野妹子祈念「陶板画」除幕式	23

議 長 降 壇

閉会・挨拶

取扱注意

２０２０(令和２)年度　小野学区自治連合会・関係団体

1	自治連合会会長・自主防災会会長	岩田　和彦		
2	朝日一丁目自治会会長	柴田　佳弘		
3	朝日二丁目自治会会長	内田　成康		
4	湖青一丁目自治会会長	上田耕太郎		
5	湖青二丁目自治会会長	永戸　久子		
6	水明一丁目自治会会長	佐々木知子		
7	水明二丁目自治会会長	戸嶋　祥浩		
8	自主防犯推進協議会会長	伊藤　　彰		
9	北交通安全協会小野支部長	池上　龍雄		
10	社会福祉協議会会長	髙野　　裕		
11	民生委員民生児童委員協議会会長	渡邊　尚美		
12	人権･生涯学習推進協議会会長	木下　順造		
13	青少年育成学区民会議会長	細田　秀正		
14	体育協会会長	山田　洋一		
15	文化協会会長	新田まゆみ		
16	小野シニアクラブ会長	新井　強介		
17	小野学区女性会会長	濵奥　真弓		
18	環境整備推進委員代表 ごみ減量と資源再利用推進会議代表	内田　成康		

取扱注意

２０１９(令和元)年度小野学区自治連合会運営委員・役職

自治連合会役　職	自治会役職		氏　名	住　　所	電話番号	関係団体派遣
会　長			内田　成康			自主防災会会長
	朝日１	会　長	森川　佳啓			環境整備推進委員代表 ごみ減量と資源再利用 推進会議担当 学区代表
副会長		副会長	谷川美能留			
		副会長	藤井　健吉			
（会長）	朝日２	会　長	内田　成康			社会福祉協議会副会長
会　計		副会長	徳岡　　厚			
副会長	湖青１	会　長	赤星　　修			人推協副会長
		副会長	岩瀬　任子			
		副会長	井川　英良			
	湖青２	会　長	山本　啓一			自主防災会副会長
		副会長	龍尾　治子			
		副会長	阿部　修一			
	水明１	会　長	今西　利和			自主防犯協議会副会長
		副会長	栄原　政彦			
副会長	水明２	会　長	濱奥　修利			
		副会長	井上　孝之			
		副会長	小松由紀子			
会計監査			西川　一男			（自治連前年度会計）
			江黒　智史			（元湖青1自治会長）
事務局			岩田　和彦			
			小倉　東一			
			小峰　健二			
			庭山　純忠			
	相談役		中西　　達			

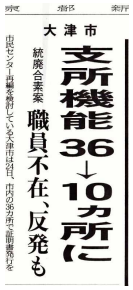
第 1 号議案

２０１９(令和元)年度　活動報告

小野学区をふるさととして愛し、
住みつづけたくなるまちづくりをしよう。

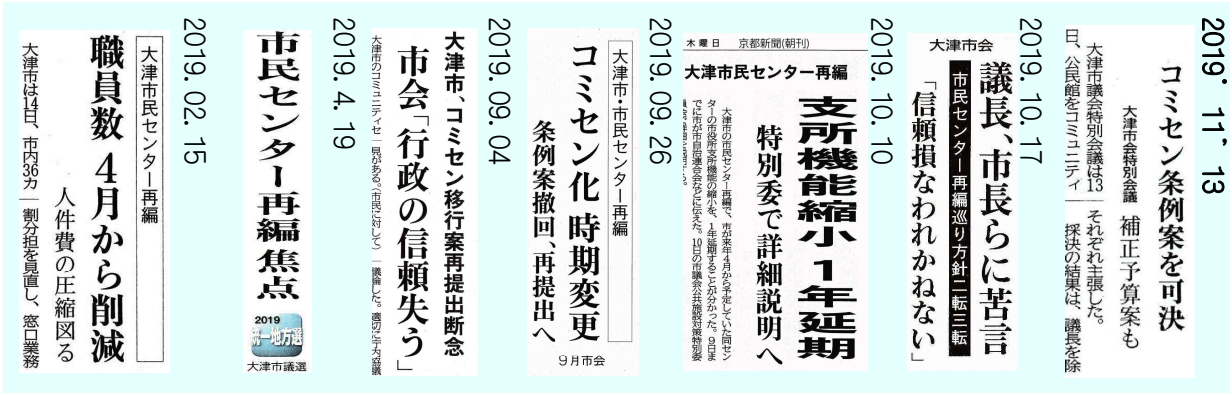
１．小野支所及び小野小学校の存続を図る。

① 支所・公民館問題について


大津市
支所機能36→10カ所に
統廃合素案 職員不在、反発も

2017/11/24　大津市　支所機能の見直し案を発表
2018/ 2/ 5　大津市自治連合会　「全支所を残せ」と決議
2018/ 7/28　市民センター機能等のあり方検討に係る
　　市民意見交換会　（和邇文化センター）
2018/11/11　市民センター機能等のあり方検討に係る
　　学区意見交換会開催結果　（小野市民センター）
2019/ 2/ 1　市「市民センター機能等のあり方実施案」を提示　▶▶▶▶
2019/ 2/28　「自治通信」発行（見直し案反対）

開館時間や証明発行など業務を縮減
市が見直し「実施案」を発表


2019・11・13
コミセン条例案を可決
大津市会特別会議　補正予算案も
大津市議会特別会議は13日、公民館をコミュニティ　それぞれ主張した。採決の結果は、議長を除

2019. 10. 17
大津市会
議長、市長らに苦言
市民センター再編巡り方針二転三転
「信頼損なわれかねない」

2019. 10. 10
木曜日　京都新聞(朝刊)
大津市民センター再編
支所機能縮小1年延期
特別委で詳細説明へ

2019. 09. 26
大津市・市民センター再編
コミセン化 時期変更
条例案撤回、再提出へ
9月市会

2019. 09. 04
大津市、コミセン移行案再提出断念
市会「行政の信頼失う」

2019. 4. 19
市民センター再編焦点
2019 統一地方選
大津市議選

2019. 02. 15
大津市民センター再編
職員数 4月から削減
人件費の圧縮図る
大津市は14日、市内36カ　割分担を見直し、窓口業務

2019/ 4/ 1　大津市　支所の人員を強引に削減　抗議運動起こる
2019/ 4/19　大津市市議会議員選挙
2019/ 6/30　小野学区自治連合会**『「市民センター機能等のあり方」についての質問状』**　市長及び市内全学区自治連合会長及び市会議員に送付もしくは手渡す
2019/ 6/30　**「自治通信」**発行
（大津市の「市民センター機能等のあり方実施案」への質問状と説明会の案内）
2019/ 7/ 9　大津市の「市民センター機能等のあり方実施案」の説明会(小野市民センター)
2019/ 7/19　大津市**「小野学区質問状に対する回答」**あり
2019/ 7/29　北部自治連「意見交換会」（真野市民センター）　圧倒的反対意見
2019/ 8/30　小野学区自治連合会**「小野学区質問状に対する回答への意見」**提出
2019/ 8/30　**号外「自治通信」**
（住民サービスの劣悪化に反対します）発行・市説明会の案内
2019/ 9/16　小野学区連合会**『わたしたちの「市民センター機能等のあり方」』**発行
2019/ 9/16　大津市「市民センター機能等のあり方実施案」第2回説明会
2019/11/13　大津市議会「コミュニティセンター条例」可決
2020/ 1/11　自治協働課　「コミュニティセンター」について説明会（自治連定例会）

2020/ 1/13　大津市長選挙　佐藤健司氏当選

朝日２丁目自治会ＨＰ≪ **https://www.onoasahi2.com/**≫の
カテゴリー「小野学区自治連合会」にほとんどの資料があります。

支所問題については、2017年末以来、小野学区自治連合会は一貫して市の提案に反対し、大津市自治連合会と連帯してきた。18年度直前、一時凍結、従来通りの支所を存続するという事態を迎え、一見明るい見通しがあるかに思う人もあったがそれ以上の進展はなく大津市自治連合会内も膠着状態が続いた。2018年末、支所人事予算が削減されることが判明するや再び反対の声が高くなり、大津市自治連合会内でもややや紛糾する中、年度が変わるや、強引に支所の人員は削減された。大津市自治連合会は反対の姿勢を鮮明化し、越市長、市民部の提案にぐらつきが現れ始めた。

公民館問題と深く関連する「コミュニティセンター条例」は、9月議会に提案されたが紛糾。長期化して10月には議長が異例の苦言を呈するという事態にまで至った。可決されたのは、なんと、11月半ばであった。

小野学区自治連合会は４月以降、事務局を本格的に稼働させ始めた。最初の大きな作業は「市民センター機能等のあり方実施案」への「質問状」を作成すること。庭山氏の草稿は労作であった。それを基本に「質問状」を完成させ、市に提出。３５学区自治連会長に,さらに市議にも配布した。また拡散したとも聞く。それまで具体的で客観的、総合的かつ論理的意見が乏しかっただけに、この「質問状」は多くの市議、自治連会長から高い評価を得、大津市自治連合会などで内容の濃い議論が盛んになっのではないかと信ずる。小野学区では都合３回の説明会を開催。住民の関心も昂まったようである。

１月、大津市新市長が誕生した。市長は「市民センターについては、支所機能を含めて維持していきたい。防災機能についても、市民センターを地域の防災の拠点として維持していく」と各所で言明している。今後もこれまで通り、自治連合会としてしっかりと対処していくつもりである。

「コミュニティセンター条例」が制定されたというものの**公民館問題**が解決したわけではなく、市としても、新市長のもと支所機能等と併せて内容の再考が進められる模様である。小野学区自治連合会は従来どおり、公民館の特例的運用としての市民センターのあり方を現実的に捉えていくこととする。

この１年、支所、公民館問題に終始した感がある。

② 小学校の存続について

コミュニティスクール（住民参画型学校）　正式名称「小野小学校学校運営協議会」

「大津市立小中学校規模等適正化ビジョン基本方針について」（2016年2月29日更新）
http://www.city.otsu.lg.jp/material/files/group/57/kihonnhousinn.pdf　大津市HP

2016/ 1/17　大津市教育委員会 学校規模等適正化ビジョン説明会(住民意見)
http://www.city.otsu.lg.jp/material/files/group/57/0117.pdf　大津市HP

2016/12/26 「小野小学校の将来を考える懇談会」発足
2017/９/13 「小野小学校の将来を考える会」に改名
2017/10/17 「小野小学校学校運営協議会」準備会 発足
2019/１/18 「小野小学校の将来を考える会」組織変え

●「学校協力者会議」のメンバーを中心に校長をはじめ保護者や元校長、自治連合会（自治会)、地域関係団体などで構成。●「できる限り小野小学校の存続を図る」ことを確認。かつ、教育行政が進めようとしている学校の規模見直し施策に向けた対応・対策のためだけではなく、地

域住民として「こうであってほしい小野小学校」、その「子ども像」を大切にし、地域住民が積極的に学校教育に参画(コミュニティスクール)して、小野小学校教職員とともに「魅力ある小学校づくり」を目指すこととした。●「小野小学校学校運営協議会(準備会)」は教育委員会、校長の方針に則って、地域参画型の「魅力ある小学校づくり」を目指していく。●「小野小学校の将来を考える会(協議会)」は「できる限り小野小学校の存続を図る」ための交渉を進めていく。

２０１９/５/20 第１回「小野小学校学校運営協議会」
２０１９/11/８ 第２回「小野小学校学校運営協議会」
２０２０/３/25 第３回「小野小学校学校運営協議会」

この一年間で３０近くの事業、延べ５００人に達しようかという多くの住民の参加を得ました。

今年の大きな企画は「ふれあい広場」。週１回(水曜日)だけではあるが子どもたちとの遊びを通してこころを通わせられたとしたら楽しい出来事だといえる。回毎に少しずつメンバーが増えている。昨年失敗した「さつまいも作り」は改善を試みて多くの歓声と収穫を得、マラソン大会ではこちらが感動のプレゼントを頂き、植えた花々は美しく校庭を飾ってくれていた。お話会やお話広場はすっかり定着して２０回にも及びます。クラブ活動(コンピューター)も１３回協力しました。

第２回運営協議会では先生方と膝をつき合わせて子ども達について協議し、意思疎通を図り得たと思います。今後の、地域住民の関わり方に示唆があり、年に１度は意見交換の場が必要でしょう。

課題は、小野小学校の特徴的な取り組みを実現することでしょう。書道や英語教育を柱にするのも良いでしょうし、ＡＩ教育に力点を置くのも考えられます。しっかりと協議したいものです。

小野学区自治連合会は「小野小学校学校運営協議会」幹事会での協議・要請を受けてしばしば広報など協力を惜しまなかった。

子ども達の安全を守る取り組みは常に第一義的に考えて行きます。

「小野小学校の将来を考える会」

幹事会を１度だけ持ち、自治連合会及び各自治会内において「小野学区にとっての小野小学校の意義」をテーマにワークショップを実施するとの提案を受けて秋１０月より対応してきたが重要議案が続き、朝日２丁目で試行したにとどまり、実施、進展、深化を見なかった。今後、総合的な判断からの広い意見交換を早急に行う必要がある。

教育委員会学校教育課との会談(2019.11.6)

近況の意見交換を行った。直ちに小野小学校の統廃合問題を協議することはない旨、即ち「地域住民の意思を無視して小野小学校の統廃合を行うことはない」姿勢を堅持し、現状の課題について丁寧な教育的議論を踏まえて対処していくということであった。

２．安心安全なまちづくりに努める。

各自治会とも関係各団体との諸行事・事業に協力した。今後とも一層横断的に連携を深めていくことによって地域は活性化すると考える。

詳細は各団体の総会資料等を　参照してください。

① 防犯・交通安全

・各自治会防犯・交通安全担当の委員を中心に協力
・子ども安全リーダーやスクールガードと、また自主防犯推進協議会や交通安全協

会小野支部などと協力
・大津北警察署防犯連絡協議会のもと協働
・毎月、また緊急的に防犯啓発に協力
・防犯カメラの定期点検に協力
・警察要望の際の立ち会い(防犯カメラ)に協力
・青パト隊員などの募集に協力
・地域活動共用車(青パト)を活用
・看板「まもろうくん」の保守点検実施
・防犯カメラ現在１１基稼動

② 防災

・各自治会防災・安全担当の委員を中心に協力
２０１９/７/15 防災研修会(小野支所)
２０１９/９/15 大津市総合防災訓練(藤尾小)
２０１９/10/27 防災訓練(小野小)　多数の参加者あり
・防災機器の充実への助成
・「小野学区安心安全事業基金」による５ヶ年計画に従う募金活動を実施
・「比良ゴルフ倶楽部」広域避難場の入り口門扉とその周辺の除草(朝日２丁目「美しくしよう会」のメンバーによって実施)
・将来の小野消防分団結成を目指して団員の募集を継続するもほとんど進展せず
今後のあり方について、行政・消防団として近いうちに結論を出す予定
・台風１９号(10/12)　警報発令に伴い避難所設置(小野支所)　解除のため半泊
・2019年3月22日以来、県土木事務所・危機防災課との会合なし

③ 2017/７/10 「安心安全事業基金」設置(小野学区自治連合会)
「小野学区安心安全事業基金」規約
第１条（目的）
安心安全なまちづくりと住民のよりよい生活環境の維持向上を促進する。

防犯カメラ （第一期計画 完了）

・本年、２基増設。
・県警からの貸与品と「安心安全事業基金」カメラを合わせて、**１１基となる。**
・計画の立案、実施は一貫して小野学区自主防犯推進協議会(会長和田)が立案し、

小野学区自治連合会で協議・実行した。
・設置場所は議案書最後に付表としてＰ２２に添付しています。

防災用備蓄物資　（第一期計画　３年目）
・５年間で、１００人が３日間の避難生活に対応できる**防災用物資を備蓄**する。
・飲料水・保存食については２年目から小野学区社協が支援することとなる。
・計画の立案、実施は一貫して小野学区自主防災会（庭山）が立案し、小野学区自治連合会で協議・実行した。

非常用５年保存飲料水２Ｌボトル９０本

非常用トイレ・テント２セット

非常用５年保存非常食１００食

３．思いやり・助けあいのあるまちづくりに努める。

各自治会とも関係各団体との諸行事・事業に協力した。今後とも一層横断的に連携を深めていくことによって地域は活性化すると考える。
詳細は各団体の総会資料等を　参照してください。

①　福祉（詳しくは小野学区社会福祉協議会の総会資料などをご覧ください）
・各自治会の福祉委員を中心に協力 ： 多くの事業実績は高く評価される
・小野学区防災訓練に参加・協力
・民生委員・児童委員協議会に協力（本年は改選期）

唐招提寺を訪ねて

志賀いきいき祭

寺子屋

福祉のまちづくり公開講座

②　青少年育成（小野学区青少年育成学区民会議）
・「志賀わがまちづくり市民運動推進会議・地域子育て推進協議会」担当年
・総会・「家族ふれ愛フェスタ」・『「わが家のルール」づくり』・「比良山麓子ども会議」を主管。「輝け志賀っ子」を発行。

・あいさつ運動の推進
志賀わがまちづくり市民運動推進会議」「地域子育て推進協議会」は大津市では独特

の北部4学区組織であり、発足から８年になる。地域の子どもをいじめや暴力、犯罪から守るだけではなく子どもたちの声を聞き、ともに安心安全で住みよいまちづくりを推し進めようという願いを基本とする組織です。夏に行っていた「山麓こども会議」は猛暑を避けて、11月30日に「家族ふれ愛フェスタ」としてまとめて実施した。

③ 文 化 祭・生涯教育

（公民館・人推協・文化協会・小野シニアクラブ会などを中心として）

・人推協の春・秋の集会に参加
・多種多様の取り組みは大津市の内でも屈指（公民館）

④ 住 環 境（ごみ減量と資源再利用推進会議など）

・リサイクルフェア（和邇体育館）に協力・参加
・ノーポイ運動に参加（和邇平和堂）

⑤ 女性活躍（小野学区女性会）

・志賀女性大会及び防災訓練に参加

⑥ 体 育 祭（小野学区体育協会を中心として）

・前日降雨
当日グランドコンディション最悪のため中止
体育館にて実施

秋の集会

文 化 祭

体 育 祭

４．自然や歴史、環境保全を大切にするまちづくりに努める。

① 市民一斉清掃

・多数の参加者のもと美化活動を無事に終える。

② 小野妹子公園整備事業

・例年どおり「水一をきれいにする会」がツツジなど250株を植樹した。
・小野小学校の桜は水明1丁目自治会が継続管理している。

③ まんだら山再生事業

・朝日２丁目「美しくしよう会」はクヌギなど10株を植樹するとともに雑木伐採、除草を行い、山道と周辺の再生に取り組んでいる。

④ 小野妹子祭への協力

・妹子祭や書道展実施に当たって事前準備などへの参加協力を行った。書道展でも多数の役員が準備と撤収に協力した。

⑤ 散歩」を実施

妹子祭協賛事業

歴史講座は５０名を超え、多数の方々の熱心に聴講する姿が印象的であった。諸経費は大津市の助成を受ける「わがまちづくり市民運動推進会議」からの３０，０００円を原資にして実施。助成がある限りつづけたい事業である。

５．その他の重要な事項

① 北部４学区の連携を図ると共に、関係団体との連携を深め、まちづくりの協議協働を推進する。

列車は下り線から右側の上り線に入る

湖西線和邇駅 初の折返し

※ 2019 年（平成 31 年）3 月堅田・京都方面に折り返し設備が新設

※台風 10 号による和邇折り返し電車

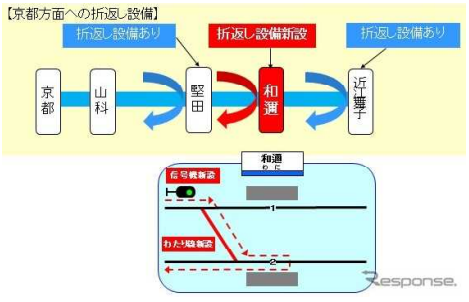
京都方面からの和邇到着

JR 西日本/産経 WEST/京都新聞

１本の短い線路ができることで、その路線の利便性を飛躍的に向上させることがある。今春ＪＲ湖西線の和邇（わに）駅南側に新たに敷かれた線路もそれだ。下り線から上り線に移れるようにした「渡り線」だが、京都方面からやってきた列車が和邇駅で折り返すことを可能にした。比良山系から琵琶湖へ強く吹く「比良おろし」の影響を受けやすい湖西線の運転見合わせ区間の縮小に役立っている。

８月１４日、ＪＲ西日本は台風１０号の接近を受け、１５日の各線の運転計画を発表した。その中で湖西線は和邇－近江塩津間が終日運転見合わせで、運行は京都－和邇間となった。

これまで、和邇駅以北が強風などで運転できない場合、京都からの列車は堅田駅止まり。堅田駅以北で、京都方面へ列車が折り返せる駅が近江舞子駅までなかったからだ。今回、渡り線による折り返し設備が新設されたことで、非常時の運行区間を堅田駅より２駅北の和邇駅まで確保。実際に１５日、和邇駅折り返しは１５本（堅田駅折り返しは２８本）という実績を残した。



湖西線の下り列車に乗り込み、運転席かぶりつきで渡り線を確認した。堅田駅を過ぎ、次の小野駅を出てしばらく走ると、進行方向右側の上り線にポイント切り替えでつながる線路が現れた。和邇駅で折り返す場合は、ここで上り線に入り、上下線を逆走する形で和邇駅の２番線に到着。反対の京都行きとなり、列車は今来た上り線を走行していくという仕組みだ。

上下線や別路線同士をつなげる「渡り線」「連絡線」は長さでいえば数メートルから数百メートルだが、その効果は絶大といえる。現在は近江塩津駅で新快速が同じホームで乗り換えられるなど、整備が進んだ「琵琶湖環状線」だが、その始まりは平成３年、同駅にできた渡り線。北陸線と湖西線の相互運行が初めて実現した。

年来の希望、ここに実現。

ＪＲへの要望

長年の要望(北部４学区連合会長の連名で行政などに文書提出)は本年も利用者数の減少を理由に、構内のバリアフリー化、エレベーターの設置について希望をもてる回答を得なかった。

小野学区は「プラットホームの暴風雨壁の設置」や「プラットホームの拡幅」を要望するも我慢して欲しいとおおむがえし。小野妹子公園にトイレを設置する要望もその方針なしとの回答。

「志賀ふれあい夏祭り」

毎年８月３日に行われる「志賀ふれあい夏祭り」は、猛暑の中実施されたが、多くの参加者をみた。規模は昨年より縮小された。次年度から北商工会議所が関与しないことが決定しているため、祭は実施されない見込みである。

② 住民の要望を集約し、その実現に努める。

小野学区は「プラットホームの暴風雨壁の設置」や「プラットホームの拡幅」を要望するも我慢して欲しいと例年通りのおおむがえし。小野妹子公園にトイレを設置する要望もその方針なしとの回答。

③ ＪＲ「小野」駅の名称を「小野妹子」駅とする運動を起こす。

特に運動らしいことは行えず。小野学区らしい、ささやかでも元気づけられるような企画(子ども達のためのイベントなど)を積み重ねることが必要であろう。事業の積み重ねが前提。

(滋賀県選出の国会議員に挨拶程度の意向は伝えた。)

④ 情報の共有化を推し進める。

可能な限り「自治通信」を出し、住民に情報を提供した。３５自治連合会長、市議などにも小野学区の考えを拡散したことは特筆できる。一層の充実を目指す。

⑤ 比良ゴルフ倶楽部の落葉・倒木について交渉する。

台風１９号の被害が、特に水明２丁目との境界部で倒木がひどく、荒廃。倶楽部支配人らと実地検分し、早急の対処を約す。境界のフェンス沿の樹木を大規模に伐採、住民が植えたアカシアなどと雑木の伐採。及び朝日２丁目の高木の整備(落葉対策)を近々に実施すると。しかし、本年の予算が尽きたことにより朝日２丁目の件は次年度に処理したい旨の連絡あり。強く約す。

⑥ 自治連合会費の値上げを協議する。

① 今日まで自治連合会長に対する渉外費に類する予算なく、すべて自己負担で賄われてきた。内田会長は、前・田中会長による会費値上げの同提案説明に反対したいきさつがあり、反省の思い募り、今年を以て退任するに当たって、自治連合会の健全かつ安定的な活動のため、かつ次期会長に業務を引き継ぐに、現状ではお願いできないという。なんとしても保障すべき。

② 本来支給してしかるべき交通費もあまりにも不十分。せめて実費に近い額を保障

すべき。
決定は各自治会の採決を待ち、６自治会の多数を以て決す。

⑦　遣隋使小野妹子祈念　陶板画再生

３年前、JR が構内改修を理由に小野駅の遣唐使船の陶板を撤去した。大津市が引き取る意思を示さないためにやむなく会長独断、支所長了解のもと、支所大会議室に引き取り、保管。まもなく生涯学習課が再掲に努力するとの約を得る。

しかし公民館機能の見直しの過程で、市民部が生涯学習課を指導(？)するというとんでもない方針転換があって、生涯学習課の動きは鈍く、容易には実現の見通しが立たなかった。

本年度当初、具体案を検討して市民部に要望するとともに、しばらくして濱奥氏に初めて支援を依頼。少しずつ前向きの反応が兆し、１１月には、年度末か次年度はじめに設置との方針がほぼ決まる。市長選の結果のせいか、３月下旬直前、突然、市民部自治協働課より実現化の話がもたらされた。嬉しいドタバタ劇であった。

３月２８日、「遣隋使小野妹子祈念 陶板除幕式」実施。

参考：協力・参加した関係団体や諸事業（ 一部 ）

小野学区自治連合会(総会・定例会・説明会・各種会談) / 大津市自治連合会(例会・研修会・意見交換会・地区意見交換会) / 大津市自治協働課など各課 / 大津市防犯協会 / 大津北警察署防犯連絡協議会・研修会 / 小野学区自主防犯推進協議会 / 暴力排除推進協議会 / 「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり県民大会 / 「暴力団追放滋賀県民大会」 / 大津地区総決起大会 / 地域安全連絡所代表者研修会 / 「交通安全地域総ぐるみ運動推進会議」 / 大津市自主防災会 / 大津市学区自主防災会長研修会 / 大津市学区防災研修会 / 小野学区自主防災会 / 志賀地区自主防災研修会・情報交換会 / 北消防署・志賀分署 / 大津市消防出初式 / 小野学区社会福祉協議会(総会ほか「長寿を祝うつどい」・募金など多種事業) / 民生児童委員・民生委員連絡協議会 / 志賀健康いきいき祭 / 小野児童館まつり / 青少年育成区民会議 / 小野学区「人権・生涯」学習推進協議会 / 人権を考える大津市民のつどい志賀ブロック集会 / 大津市北部学区体育団体連絡協議会 / 小野学区体育協会 / 小野学区区民体育祭 / 小野学区文化協会 / 小野学区文化祭 / ４学区合同文化祭 / 志賀ブロック地域女性団体連合会 / いきいきサロン・老人会 / 子ども会 / 大津市役所いじめ対策推進室 / 志賀南幼稚園「協力者会議」 / 小野小学校「学校運営協議会」・各種取り組み / 志賀中学校「協力者会議」 / 大津北交通安全協会 / 「全国交通安全運動」 / 志賀わがまちづくり市民運動推進会議・地域子育て推進協議会 / 比良山麓子ども会議 / 愛のパトロール啓発活動 / 小野妹子お田植え祭 / 小野妹子神社大祭 / 小野神社奉賛会「しとぎ」大祭 / 「遣隋使小野妹子のふるさと和邇」事業実行委員会 / ごみ減量と資源再利用推進会議 / リサイクルフェア / ノーポイ運動　北部ブロック / 男女共同参画をすすめる市民フォーラム / 大津市女性大会 / 大津市北部廃棄物最終処分場運営連絡会 / 社会就労センターあおぞら / 「ふれあい志賀夏まつり」実行委員会 / 和邇すこやか相談所・事例検討会 / 琵琶湖市民一斉清掃 / 志賀ブロック自治連合会 / 西日本旅客鉄道西日本京都支社要望 / 比良ゴルフ倶楽部 …… 等々

第２号議案

２０１９(令和元)年度会計報告　決算報告書

会計期間：平成 31 年 4 月 1 日～ 4 月 30 日令和元年 5 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

〈収入の部〉　　（単位：円）

項　目		予算額	決算額	増減	摘 要
前年度繰越金		281,579	281,579	0	
会費		216,750	216,900	150	@150×会員（1,446世帯）
報奨金	自治連合会	155,600	155,600	0	@80×会員＋@40,000
	自治会	1,159,550	1,159,550	0	@790×会員＋@3,000×6
	自治会長	131,150	131,150	0	@70×会員＋@5,000×6
雑収入	一斉清掃助成金	74,000	73,350	△650	内110円手数料
	わがままづくり助成金	35,000	30,000	△5,000	「歴史講座と歴史散歩」
	日赤事務手数料	10,000	11,700	1,700	募金額×5%
	預金利息	1	4	3	普通預金利息
合　計		2,063,630	2,059,833	△3,797	

〈支出の部〉

項　目		予算額	決算額	増減	摘 要
報奨金	自治会　按分	1,159,550	1,159,550	0	各自治会員数で按分
	自治会長　按分	131,150	131,150	0	各自治会員数で按分
助成金	大津北交通安全協会小野支部	50,000	50,000	0	交通安全協会小野支部へ
	自主防災会	120,000	120,000	0	小野学区自主防災会へ
	自主防犯推進協議会	40,000	40,000	0	小野学区自主防災推進協議会へ
	子ども安全ﾘｰﾀﾞｰ会	10,000	10,000	0	小野学区子ども安全ﾘｰﾀﾞｰ会へ
雑収入	一斉清掃	70,000	73,447	3,447	うち手数料110円
	「歴史講座と歴史散歩」	35,000	32,975	△2,025	
会　費	大津市自治連合会	45,000	45,000	0	
	北署防犯連絡協議会	10,000	10,000	0	大津市北警察署防犯連絡協議会へ
按分金	日赤事務手数料按分	10,000	11,690	1,690	各自治会へ按分
協賛金	大津市妹子まつり	10,000	10,108	108	
	小野神社	15,000	15,000	0	お田植祭　大祭　しとぎ祭
	志賀ﾌﾞﾛｯｸ老人会	5,000	0	△5,000	
	北部体育団体協議会	5,000	5,000	0	北部体育団体協連絡会議へ
	志賀観光協会	10,000	10,000	0	志賀花火大会
	市民運動推進会議	5,000	5,000	0	志賀わがまちづくり市民運動推進会議
支援金	地域女性団体	10,000	10,000	0	大津市・志賀ブロック女性会
	志賀うりぼう	5,000	5,000	0	子育てﾈｯﾄﾜｰｸ志賀うりぼう
経　費	広報費	40,000	22,470	△17,530	印刷　コピー用紙
	会議費	2,000	0	△2,000	
	交通費	20,000	21,000	1,000	
	事務費	20,000	0	△20,000	
	通信費	1,000	0	△1,000	
	予備費	20,000	0	△20,000	
支出合計		1,848,700	1,787,390	△61,310	
次年度繰越金		214,930	272,443	57,513	
合計		2,063,630	2,059,833	△3,797	

２０１９(令和元)年度　小野学区安心安全事業基金
収支報告書

会計期間：平成31年4月1日～4月30日令和元年5月1日～令和2年3月31日

収入			
項目	予算	決算	備考
前年度繰越金	595,573	595,573	
寄付・募金(拠出金)	300,000	0	2020(令和２)年1月不実施
利　息	7	3	
合計	895,580	595,576	

防災支出			
非常用飲料水	0	0	社協協力　２Lボトル９０本　¥23,400
非常食（１）	0	0	社協協力　５０食×２セット　¥25,000
非常食（２）	0	0	社協協力　５０食　¥12,500
トイレ・テント	64,000	160,380	L型（2,600X1,850X2,070)×２張り
ポータブル水洗トイレ	60,000		24L×２台　振込料¥540を含む
水洗トイレ用手摺	72,000		２台
保守修繕費	30,000	0	
小計	226,000	160,380	
防犯支出			
青パト車任意保険	49,000	48,550	H31/4/14～R2/4/13
青パト車法定検査費	10,000	10,560	滋賀ニッサン　R1/12/12完了
青パトドライブレコーダー	13,000	13,000	H31/4　リア側設置　ケンウッド製
青パト車運営保守費	48,000	51,551	ガソリン、バンパー交換、部品等
防犯カメラ設置費	90,000	162,220	1基→2基(+大津市設置補助金¥153,000)
電気料金①	32,400	32,784	R1年度　12ヶ月分9台自動引落
電気料金②	1,800	592	R1新設防犯カメラ2台
NTT電柱使用料 申請費	0	1,675	NTT電柱使用料　諸手続
防犯カメラ保守費①	30,000	8,000	電源アダプター2台交換
防犯カメラ保守費②		12,870	新設カメラ予備SDmemoryカード2枚
防犯カメラ保守費③		441	メモリーカードケース
小計	274,200	342,243	
次年度繰越金			
次年度繰越金	395,380	92,953	

第　３　号議案

２０１９(平成３１・令和元)年度会計監査報告

証拠書類・その他帳票類を精査したところ、適正且合法的に
処理されていたことを認めます。

２０２０年４月５日

会計監査

西川一男　印

江黒賢史　印

第４号議案

取扱注意

２０２０(令和２)年度小野学区自治連合会運営委員・役職

自治連合会役　職	自治会役職		氏　名	住　　所	電話番号	関係団体役職
会　長			岩田　和彦			自主防災会会長
副会長②	朝日１	会　長	柴田　佳弘			人推協副会長
		副会長	橋本　衛一			
		副会長	吉本　丈一			
副会長①	朝日２	会　長	内田　成康			社協副会長・＊環境
		副会長	徳岡　　厚			
	湖青１	会　長	上田耕太郎			自主防災会副会長
		副会長	田尻　澄曠			
		副会長	丸山　達哉			
（鍵）	湖青２	会　長	永戸　久子			
		副会長	水野　末男			
		副会長	山本　有紀			
	水明１	会　長	佐々木知子			自主防犯副会長
		副会長	坂本　久美			
		副会長	田中奈穂子			
会　計	水明２	会　長	戸嶋　祥浩			
		副会長	光谷　　匡			
		副会長	栗原　和美			
会計監査			西川　一男			（30年度自治連会計）
			山本　啓一			（湖青２前自治会長）
事務局			小倉　東一			（水明１元自治会長）
			小峰　健二			（水明２自治会元副会長）
			庭山　純忠			（自主防災会統括部長）
			内田　成康			（朝日２自治会長）
相談役			中西　　達			（自主防災会相談役）

＊**環境**：環境整備推進委員代表・ごみ減量と資源再利用推進会議担当　学区代表

第５号議案

２０２０(令和２)年度　活動方針

小野学区をふるさととして愛し、
住みつづけたくなるまちづくりに取り組む

１．公民館とともに生涯教育を推進する。

２．小野小学校の存続を図る。

３．安心安全なまちづくりに努める。

４．思いやり・助けあいのあるまちづくりに努める。

５．自然や歴史、環境保全を大切にするまちづくりに努める。

６．その他の重要な事項

① 北部４学区の連携を図る。

② 住民の要望を集約し、その実現に努める。

③ ＪＲ「小野」駅の名称を「小野妹子」駅とする運動を行う。

④ 情報の共有化を推し進める。　など等

これまでの活動を踏まえつつ、

一層の充実・展開を目指す。

第 6 号議案

２０２０(令和２)年度　自治連合会予算

会計期間：２０２０年3月1日～平成２０２１年2月２８日

(収入の部)　　(単位：円)

	項　　目		前年度決算額	今年度予算額	摘　　要
1		前年度繰越金	281,579	272,443	
2		会　費	216,900	359,750	@250×1,439
3	報奨金	自治連合会	155,600	155,120	@80×1,439 ＋@40,000
4		自治会	1,159,550	1,154,810	@790×1,439 ＋@3,000×６
5		自治会長	131,150	130,730	@70×1,439 ＋@5,000×６
6	雑収入	一斉清掃助成金	73,350	73,000	
7		わがまちづくり助成金	30,000	30,000	「歴史講座と歴史散歩」
8		日赤事務手数料	11,700	10,000	募金額×５％
9		預金利息	4	7	
		合　計	2,059,833	2,185,860	

(支出の部)

	項　　目		前年度決算額	今年度予算額	摘　　要
10	報奨金	自治会　按分	1,159,550	1,154,810	各自治会員数で按分
11		自治会長 按分	131,150	130,730	各自治会員数で按分
12	按分金	日赤事務手数料	11,690	10,000	各自治会員数で按分
13	会　費	大津市自治連合会	45,000	45,000	
14		北署防犯連絡協議会	10,000	10,000	大津市北警察署防犯連絡協議会
15	事業費	一斉清掃	73,447	73,000	
16		「歴史講座と歴史散歩」	32,975	33,000	
17	助成金	北交通安全協会小野	50,000	50,000	
18		自主防災会	120,000	120,000	
19		自主防犯推進協議会	40,000	40,000	
20		子ども安全リーダー会	10,000	10,000	
21	協賛金	小野妹子まつり	10,108	10,108	
22		小野神社	15,000	15,000	田植え祭　大祭　しとぎ祭
23		志賀ブロック老人会	0	5,000	
24		北部体育団体協議会	5,000	5,000	北部体育団体協連絡議会
25		志賀観光協会	10,000	10,000	志賀花火大会
26		市民運動推進会議	5,000	5,000	わがまちづくり市民運動推進会議
27	支援金	地域女性団体	10,000	10,000	
28		志賀うりぼう	5,000	5,000	子育てネットワーク
29	諸経費	渉外費	0	72,000	
30		広報費	22,470	40,000	印刷 コピー用紙
31		会議費	0	2,000	
32		交通費	21,000	40,000	大津@820×35　木戸@400×28 等
33		事務費	0	10,000	
34		通信費	0	2,000	
35		予備費	0	80,000	PC レンタル　HP 開設
		支出合計	1,787,390	1,987,648	
36		次年度繰越金	272,443	198,212	
		合　計	2,059,833	2,185,860	

２０２０(令和２)年度　安心安全事業基金予算

会計期間：２０２０年３月1日～平成２０２１年２月２８日

(収入の部)

項　目	前年決算	本年予算	摘　　要
前年度繰越金	595,573	92,953	
寄付・募金	0	350,000	@200×1,439　＋　寄付
利　息	3	7	
合　計	595,576	442,960	

(支出の部)

防災			
非常用飲料水	0	0	社協協力　2Lボトル９０本 ¥23,400
非常食（１）	0	0	社協協力　５０食×２セット ¥25,000
非常食（２）	0	0	社協協力　５０食 ¥12,500
トイレ・テント	160,380	64,000	L型（2,600X1,850X2,070)×２張り
ポータブル　水洗トイレ		60,000	24L×２台　振込料¥540を含む
水洗トイレ用手摺		36,000	２台
修繕費	0	30,000	
小計	160,380	190,000	消費税込み
防犯			
青パト車任意保険	48,550	48,550	Ｒ２年度分保険料　4/13更新
青パト車法定検査/車検費	10,560	85,000	車検 R2 年１２月実施　法定検査¥10,000
青パトドライブレコーダー	13,000	0	
青パト車運営保守費	51,551	9,000	タイヤ、オイルフィルター　等
防犯カメラ設置費	162,220	0	第 1 期計画終了
電気料金	33,376	39,600	12 ヶ月 11 台自動引落
NTT電柱使用料 申請費	1,675	1,200	使用料のみ
防犯カメラ保守費	21,311	20,000	
小計	342,243	203,350	消費税込み
次年度繰越金	92,953	49,610	
合計	595,576	442,960	

付

小野学区自治連合会
会　則

（目的）

第１条　本会は、住民自治の基本理念に基づき、地域住民の連帯を図り、福祉の向上と安全で住み易い町づくりの推進を目的とする。

（名称・事務所）

第２条　本会は、小野学区自治連合会と称し、事務所を大津市小野市民センターに置く。

（本会の構成）

第３条　本会は、大津市小野学区（以下「学区」という）内の、朝日一丁目、朝日二丁目、湖青一丁目、湖青二丁目、水明一丁目、水明二丁目の各自治会（以下「単位自治会」という）をもって構成する。

（運営委員会）

第４条　本会は会長のほか、単位自治会の会長および副会長等から３人ずつ選出された１８人の委員（以下「選出委員」という）が運営委員会を構成して運営する。

（事業）

第５条　本会は、第１条に掲げる目的を達成するため、次の事業を行う。

(1)　単位自治会の総合連携を図るとともにその活動を支援すること。

(2)　関係する行政機関および組織・団体等との連携を確保すること。

(3)　その他、本会の目的を達成するために資すること。

（役員）

第６条　本会に次の通り役員を置く。

(1)　会長	1名	
(2)　副会長	3名	
(3)　事務局員	2名	（うち事務局長１名を含む）
(4)　会計	1名	

（役員の選出）

第７条　役員の選出は次の通りとする。

(1)　会長は学区内に居住する者であって、本会が候補者を募り、自ら応募した者または、学区内居住者が推薦した者の中から、本会が選出する。

(2)　会長を除く役員は、単位自治会会長の互選による。

（運営委員の任期）

第８条　運営委員会を構成する運営委員の任期は、次の通りとする。

(1)　会長は2年とし、再任を妨げない。ただし、連続3期を超えることは出来ない。また、任期途中で交代する場合は、次期会長の任期は前会長の残任期間とする。

(2)　会長を除く運営委員は1年とし、再任を妨げない。また、任期途中の交代は、会長の場合に準ずる。

（運営委員の任務）

第９条　運営委員の任務は次の通りとする。

(1)　会長は、本会を代表し、かつ、統括する。

(2)　副会長は会長を補佐し、会長に事故または支障がある場合は、事前の申し合わせによって代行する。

(3)　事務局担当者は、会の事務を行う。

(4)　会計は、会計事務を行う。

(5)　役員以外の運営委員は、役員を補佐するとともに、運営委員会に参画する。

（会計監査）

第10条　本会に会計監査を置く。

(1)　会計監査は、2人とし、前年度の選出委員から総会で選出する。

(2)　会計監査の任期は1年とする。

(3)　会計監査は会計の監査を行う。

（相談役）

第11条　本会に相談役を置くことが出来る。

(1)　相談役は、会長が指名するものとする。

(2)　相談役は、会長の諮問に応えるものとする。

（参与）

第12条　会長は、本会の目的を達成するために必要と認められる場合、連携する学区内各種団体の代表者等を参与として、本会に招き、意見を聞くことが出来る。

（部門別活動）

第13条　本会は、次に例示する部門別の活動を行うことが出来る。

また、自ら部門別活動を行う必要があると認めるときは、活動に関する規定を定めるものとする。

(1)　防火・防災に関すること。

(2)　地域の安全に関すること。

(3)　社会福祉に関すること。

(4)　「人権・生涯」学習に関すること。

(5)　青少年育成に関すること。

(6)　生活環境に関すること。

(7)　体育活動に関すること。

(8)　文化活動に関すること。

(9)　その他、必要と認められること。

（会議）

第14条　本会の会議は、総会、例会、臨時会、および役員会とし、次の通り開催する。

(1)　例会

ア　年度当初の例会は、運営委員のほか、会計監査、相談役および参与の出席を求めて行う総会とし、会長が召集し、開催する。

イ　総会の審議事項は、会則の改正、人事、事業計画、事業報告、予算及び決算報告等、本会の運営に関する基本的な案件とする。

ウ　総会の議長は、会長の司会によって総会出席者から選出する。

エ　総会を除く例会は、運営委員による月例会とし、毎月1回、会長が召集し、開催する。

オ　例会の議長は原則として会長が行う。ただし、支障がある場合は、事前の申し合わせによって、副会長の1人が代行する。

(2)　臨時会

ア　会長または2分の1を超える役員が要請した場合、会長または要請者の代表は、臨時会を招集し、開催することが出来る。

イ　臨時会の審議、議決等は例会と同じとする。

(3)　役員会

ア　役員で構成し、原則として会長が主宰する。会長に事故または支障がある場合は、事前の申し合わせによって、副会長の1人が代行主宰し、会議後、速やかに会長に結果を報告し、承認を得るものとする。

イ　役員会は、事務的な事項または早急に措置を講じる必要がある事項、並びに例会または臨

時会の円滑な進行のため必要な事項について、協議を行うものとする。

(4)　運営委員以外の出席

会長または代行主宰者は、会議に会計監査、相談役、または意見を聞く必要があると認めた参与の出席を求めることが出来る。

（会議の成立等）

第15条　会議の成立要件は、次の通りとする。

(1)　総会、例会および臨時会は、各単位自治会からの選出委員1人以上を含む3分の2以上の運営委員の出席をもって成立し、決定は運営委員の多数決とする。ただし、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(2)　役員会は、役員（代理者を含む）3分の2以上の出席をもって成立し、決定は多数決とする。ただし、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

（経費）

第16条　本会の運営に関する必要経費は、会費、補助金、寄付金およびその他の収入をもって充てる。

（会費）

第17条　各単位自治会からの会費は、単位自治会の1世帯あたり年額150円とする。

ただし、世帯数は前年度最新集計の単位自治会ごとの世帯数とする。

（会計年度）

第18条　本会の会計年度は、毎年３月1日から翌年２月末日までとする。

（付則）

この会則は、平成19年4月14日から施行する。

平成２２年　４月　１日　一部改正

平成２６年　４月２７日　一部改正

平成２８年　４月１７日　一部改正

「小野学区安心安全事業基金」規約

第１条（目的）
　　安心安全なまちづくりと住民のよりよい生活環境の維持向上を促進する。

第２条（事業）
　　目的のために次の事業を行う。
　　①防火防災に係る事業
　　②防犯に係る事業
　　③交通安全に係る事業
　　④ゴミ問題をはじめ美化・景観などの環境に係る事業
　　⑤目的を推進するためのその他の事業

第３条（原資）
　　事業の原資は次の方法に拠る。
　　①自治会による戸別募金、または自治会一括拠金
　　　なお、自治会未加入者へも協力依頼することとする
　　②街頭募金
　　③寄付金や協賛金

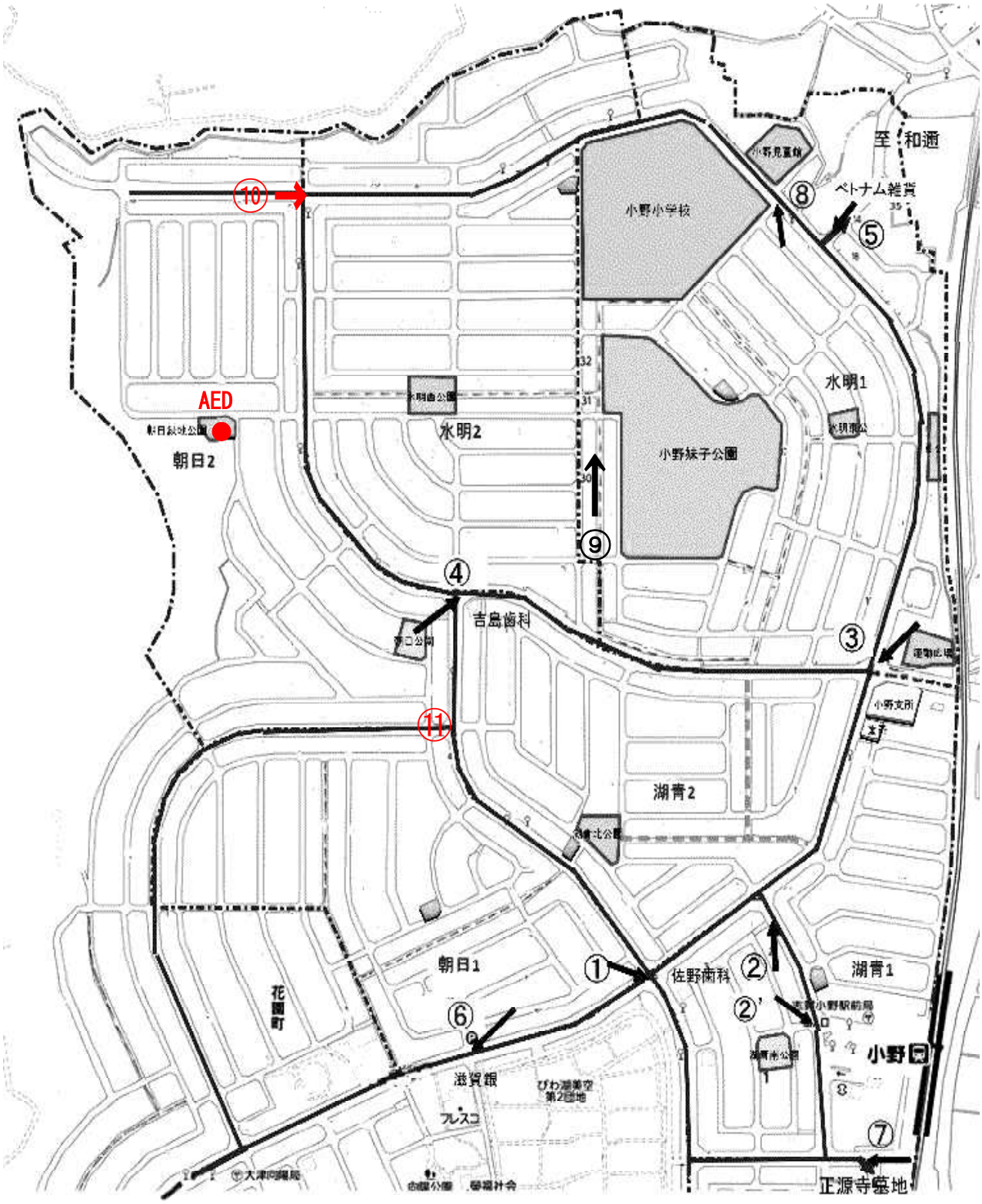
第４条（計画の決定）
　　事業の計画内容は、自治連合会定例会での自治会代表者による議論を踏まえ、連合会長が決定する。

第５条（会計）
　　滋賀銀行ローズタウン出張所に「小野学区安心安全事業基金」の口座を設け、小野学区自治連合会が管理し、年度毎に会計報告・監査を行う。

【付】
２０１７年4月２２日　採択

【重要資料】　「２０１５(平成２７)年度議案書　活動報告」
　　防犯カメラの設置について協議し募金を実施した中で、こうした事業の完遂のためには計画的な立案が必要であるとの認識で一致した。とりあえずは、当初計画した１０台の防犯カメラ設置を目標とする。次年度では３台の設置を実現するために会員一人あたり２００円相当額を自治会より徴収して原資とすることになった。今後、これをもって「防火防災、防犯と交通安全に係る事業を推進するための原資」とする。なお、その徴収金に関しては、各自治会の実情に従いながら、自治会に入っておられない方に自治会加入を勧誘すること、または協力金を呼びかけることとした。

小野学区防犯カメラ設置場所位置図



——幹線　①②H27滋賀県貸与カメラ設置点　③④⑤ H27小野学区によるカメラ設置点

⑥～⑧ H28滋賀県貸与カメラ設置点　H27の②は②'へ場所変更

→ 矢印がカメラを設置する市街灯等のポール位置と撮影方向

⑨ H30年度　⑩⑪ は令和元年度　小野学区によるカメラ設置点

遣隋使小野妹子祈念　陶板除幕式　　2020.03.28　小野支所

組写真提供：小倉東一氏

妹子渡海の陶板絵、再び　大津市小野支所

遣隋使小野妹子が大海を渡る様子をイメージした陶板絵画の除幕式が28日、大津市湖青1丁目の小野支所であった。2017年まで近くのJR小野駅にあった陶板で、住民らは再び日の目を見ることになった作品を「町づくりのシンボルに」と喜び合った。

陶板は縦110㌢、横180㌢、重さ約100㌔。小野学区自治連合会によると、1988年に同駅が開業した際、一帯が古代豪族小野氏ゆかりの地であることにちなんで、旧志賀町が寄贈したとみられる。駅改修に伴い撤去され、自治連がもらい受けた。

大津市が設置費を負担して小野支所の玄関脇に掲げることになり、この日は住民約30人が除幕を見守った。同連合会の内田成康会長（75）は「心をかき立てられる絵だと思う。住民の高齢化など地域の課題は多いが、町の人の心の支えになれば」と話した。（岡本早苗）

再び日の目を見ることになった陶板絵画
（大津市湖青1丁目・小野支所）

妹子の功績ふれる陶板

大津・小野地区 駅から移設、除幕式

607年に遣隋使として中国・隋へ渡った小野妹子の出身地とされる大津市小野地区にある市小野支所に28日、妹子の渡海の様子を描いた陶板が設置された。

陶板は縦約110㌢、横約180㌢、重さ約100㌔。帆を張った船が大海原を進む様子を表現している。1988年のJR小野駅開業に合わせて地域住民らが信楽焼で作ったとされ、3年前まで駅で掲示されていた。その後、駅の改修に伴い撤去されていたが、地域のシンボルにしようと住民らが中心となって移設した。

除幕式には約40人が参加し、小野学区自治連合会の内田成康会長（75）が「国家の大事業を担った小野妹子を心のよりどころに、町を元気にしたい」とあいさつ。訪れた人たちは陶板を触るなどして妹子の功績をしのび、完成を祝った。

小野妹子が隋を目指して海を渡る様子を描いた陶板について説明する内田さん（右）（大津市で）

監修　石井謙治　　原画制作　谷井健三

この陶板画は、当初小野駅に掲出された。

１９８８年（昭和63年）１２月４日、小野駅はＪＲ湖西線の新駅として開業した。京阪電鉄が開発した「びわ湖ローズタウン」の最寄り駅として、京阪電鉄の全額負担で設置された請願駅であった。

陶板画は開業を記念して京阪電鉄が信楽の大塚オーミ陶業株式会社で制作して旧志賀町に寄贈したもので、開業と同時に小野駅改札口の南側壁面に掲架され、通勤する住民を長い間みつめてきた。

２０１７（平成29）年５月１５日、ＪＲ堅田駅長よりロビー改修工事のため陶板画の処理を依頼され、大会議室に保管することにした。

以後、生涯学習課と再掲出について協議を続けた。

２０１９（令和元）年３月１２日（木）、生涯学習課・自治協働課と協議の末、再掲架が決定した。３月２０日（金）、小野市民センター入口右壁面へ設置した。施工業者は西幸建設である。３月２３日（月）、行政財産使用許可申請書[第30号関係／R2.4.1～R5.3.31]を提出した。管理者は小野学区自治連合会である。

３月２８日（土）、１０時、「遣隋使小野妹子祈念 陶板画除幕式」を行った。

尚、この画は、遣隋使船の資料画が現存しないため１２世紀の「吉備大臣入唐絵詞」（ボストン美術館所蔵）の遣唐使船をモデルにして書かれている。